愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	野外運動論		
担当者(Instructors)	石川 幸生	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

野外運動は一時的ではあるが、人間を日常の人工的抑圧から解放し、人間の自然性の回復を期待できものである。授業では人間の持つ自然性の学習や具体的な野外運動プログラムを提供しながら、その知識や技術を理解させる。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で授業を行う。授業内容に応じてディスカッションを取り入れる

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	はじめに	この講義の目的と概要について述べる。	□
第2回	野外活動・野外運動の定義と分類	野外活動・野外運動の定義と分類について述べる。	□
第3回	野外活動・野外運動の意義と必要性	野外活動・野外運動の意義と必要性について論じる。	□
第4回	野外活動・野外運動と野外教育	野外活動・野外運動と野外教育について述べる。	□
第5回	野外活動・野外運動と健康	野外活動・野外運動と健康について理解する。	□
第6回	野外活動・野外運動のマネジメント	野外活動・野外運動のマネジメントについて理解する。（小テスト実施）	□
第7回	野外活動・野外運動とその指導	野外活動・野外運動とその指導について理解する。	□
第8回	野外活動・野外運動と参加者への理解	野外活動・野外運動と参加者への理解をする。	□
第9回	野外活動・野外運動と環境への配慮	野外活動・野外運動と環境への配慮について理解する。	□
第10回	野外活動の公的施設（1）	公的な野外活動野外活動の実際(1)山陸型野外活動について理解する。の各種施設について理解する。	□
第11回	野外活動の民間施設（２）	民間野外活動施設について理解する。（小テスト実施）	□
第12回	野外活動の実際（１）「山陸型活動」	野外活動の実際(1)山陸型野外活動について理解する。	□
第13回	野外活動の実際（２）「水辺型活動」	野外活動の実際(2)水辺型野外活動について理解する。	□
第14回	野外活動の実際（３）「冬季の活動」	野外活動の実際(3)冬季の野外活動について理解する。	□
第15回	まとめ	野外運動論の総括をする。（小テスト実施）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に配布資料を読んで準備すること（2時間程度）。また、事後学習については授業で学んだ内容を整理しておくこと（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題レポートは採点し、コメントを付けて学生に返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	心身の健康増進に関する野外運動・活動のおける専門的知識・実戦能力を身に付けているか。
主体性	◇ 2019人間健康DP3	多様な価値観を有し自発的に人々と協働して地域貢献できるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		